

第18回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成18年3月

応募者名: 赤穂市地域整備部 都市整備課

事業の名称: ^{せい ばん}西播都市計画道路事業3.4.152号

赤穂駅前大石神社線

実施都市名: 赤 穂 市

事業の目的

本路線は、市の中心市街地を南北方向に縦断する主軸であり、JR播州赤穂駅、加里屋地区の商業地域及び赤穂城跡の文化交流地域を結ぶとともに、シンボルロード(お城通り)として位置づけられている道路である。さらに沿道地区が市街地景観形成の地区指定をされていることから、街路拡幅と合わせて平成の城下町に相応しい和風のまち並みとにぎわいある商店街の創出を図る。また既に整備済みの赤穂駅前の区間とのつながりに充分配慮し、ショッピングモール機能や観光機能の集積を前提とした魅力ある空間の形成を図るため整備した。

事業概要 (1)

事業名: ^{せい ばん}西播都市計画道路事業3.4.152号
赤穂駅前大石神社線

路線名: 赤穂駅前大石神社線

事業箇所: 加里屋字東組 ~ 加里屋南

事業延長: 408m

幅員: 20m (2車線)

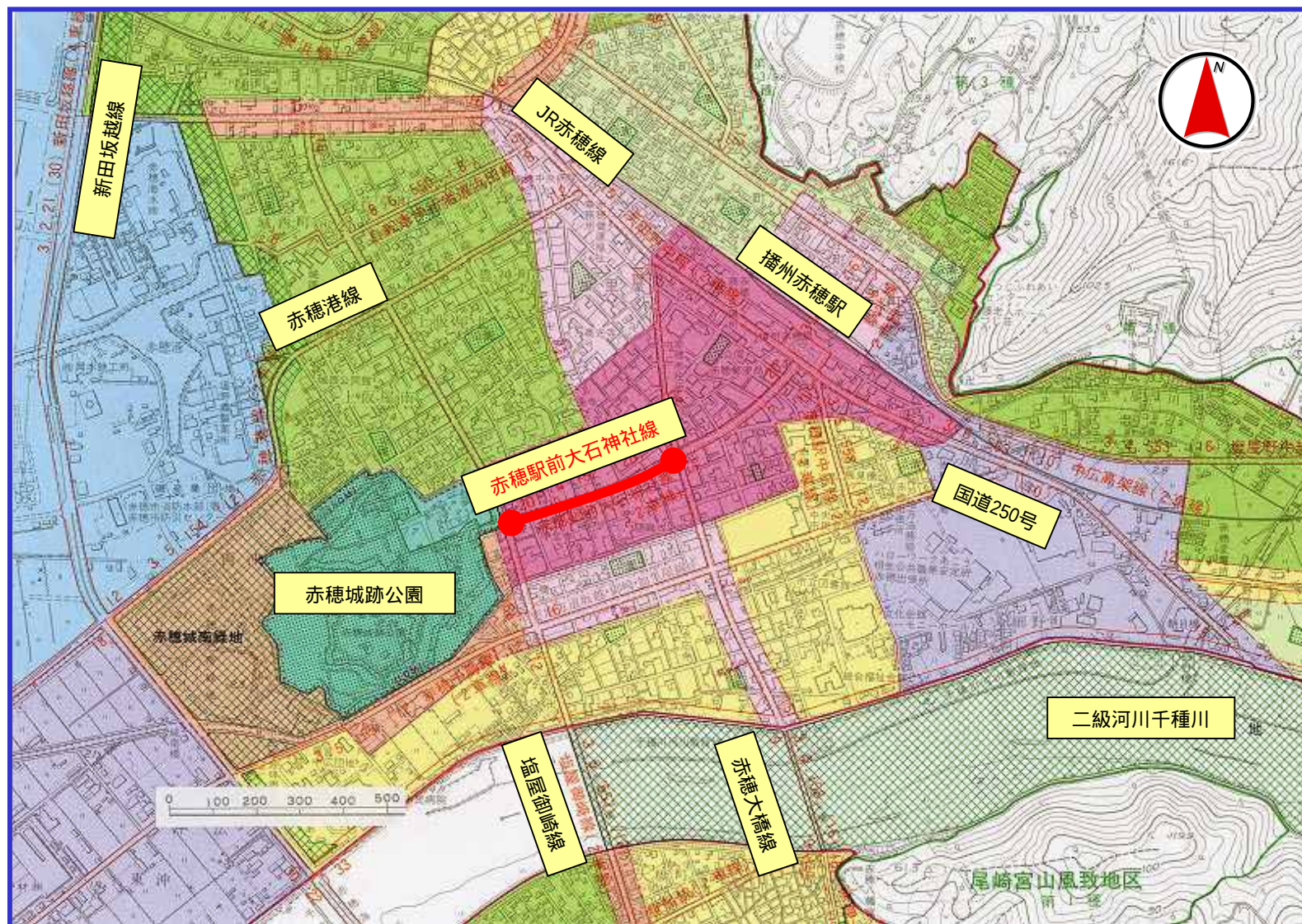
総事業費: 約55億円

事業期間: 平成9年度 ~ 平成16年度

事業概要（２）

城下町が目抜き通りとして、和風のまち並み形成に向けた官民一体の沿道空間の形成を目指す事業で、歩道は段差を極力排したバリアフリーの構造とし、自然石や透水性の組み合わせによる舗装、道路景観に配慮した電線共同溝(電線類等の地中化)、街路樹には黒松を配し、照明や車止めについてもシンプルなデザインの中にも和のイメージが感じられるものとなっている。

事業位置図



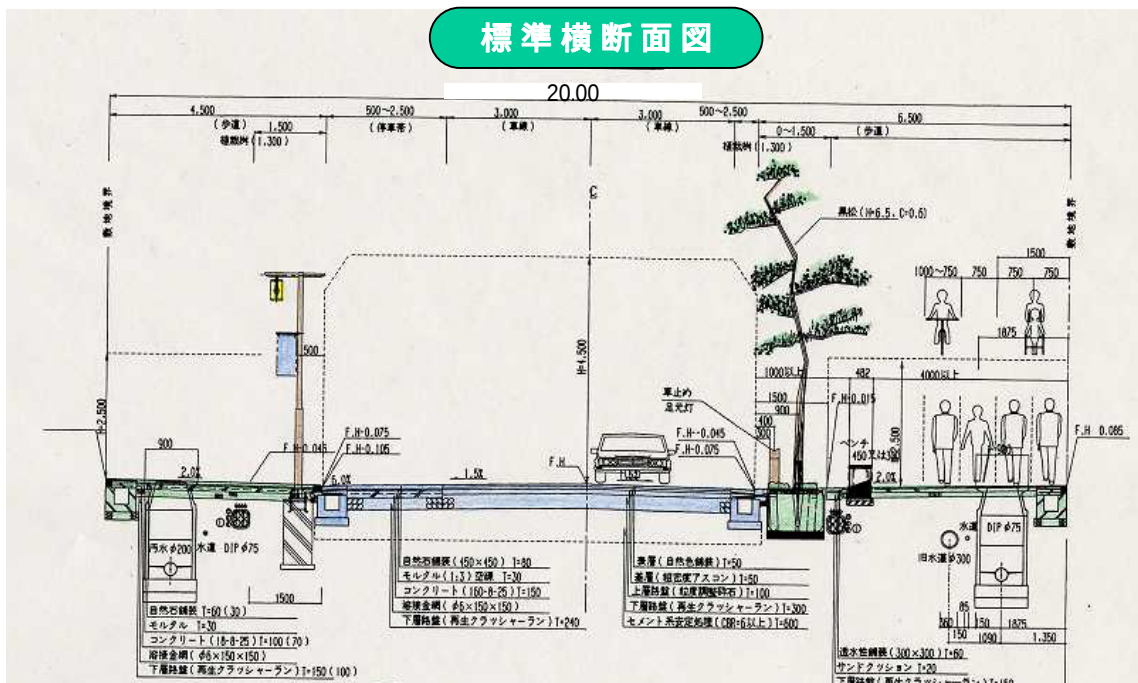
全体図(平面図・横断面図・舗装イメージ)

平面図

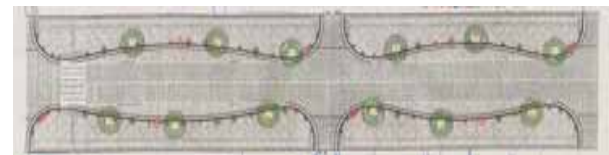
赤穂駅前大石神社線 L=408m w=20m



標準横断面図



舗装イメージ



赤穂駅前大石神社線の整備効果アピール資料

○事業概要

事業名: 西播都市計画道路事業3.4.152号

赤穂駅前大石神社線

路線名: 赤穂駅前大石神社線

事業箇所: 加里屋字東組

～ 加里屋南

事業延長: 408m

幅員: 20m (2車線)

総事業費: 約55億円

事業期間: H9～H16年度

○交通量調査結果

供用前 平成14年7月29日

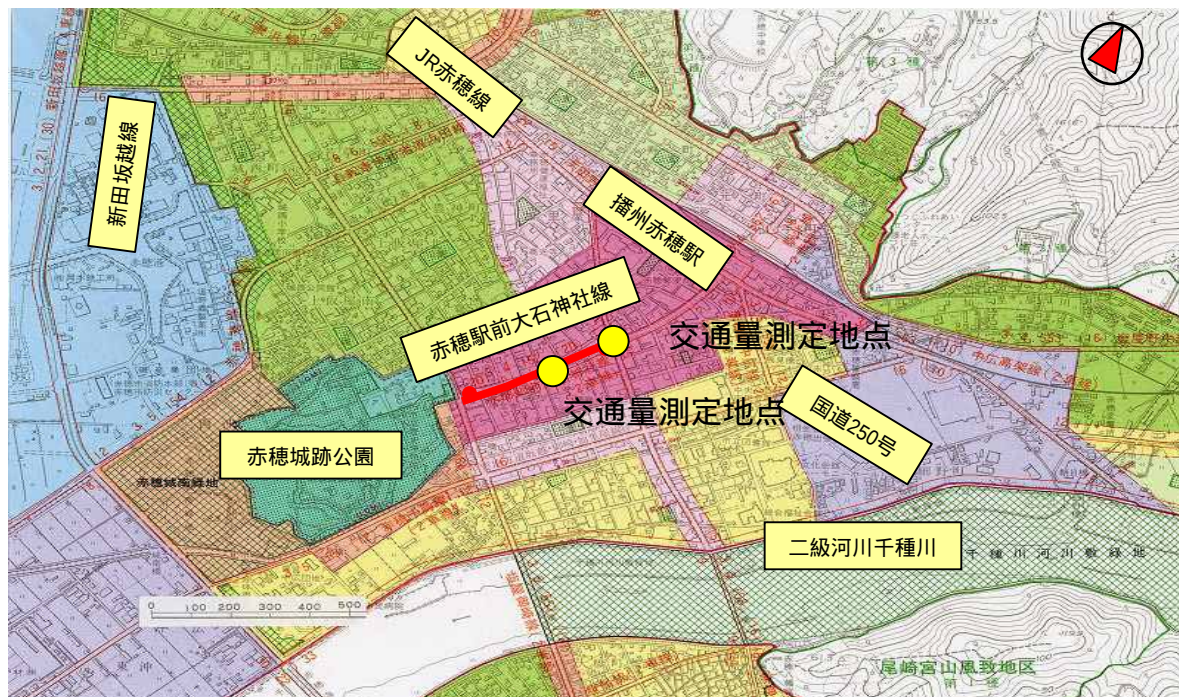
供用後 平成17年7月25日

交通量 3,623 → 4,539

対前回比 25.3%増

交通量 4,747 → 5,827

対前回比 22.7%増



「整備効果」

- 赤穂駅前大石神社線(お城通り)の拡幅による利便性向上の結果交通量25.3%増加

- 景観形成地区指定に伴う、ゆとりある道路空間と統一感のある美しいまち並み景観の形成を実現



事業前: H9.6



事業後: H17.3

事業前写真

平成9年6月撮影



事業前写真

平成9年6月撮影



事業写真

平成9年6月撮影



事業後写真

平成17年3月撮影



事業後写真

平成17年3月撮影



事業後写真

平成17年12月撮影

